

今回は、地下鉄東西線「西18丁目」駅5番出口すぐ横にある、就労継続支援B型 アベニュー16にお邪魔して、色々とお話を伺ってききました。

アベニュー16は、平成23年11月に設立されました。現在の利用者数はおよそ20名で、精神障がいのある方を中心に、身体障がい、知的障がいなど様々な方が、体調を見ながら自分のペースで通われているそうです。

1日のスケジュールは、大まかに午前と午後に分かれているとのこと。これから具体的な内容を見ていこうと思います。

1 午前（軽作業）

午前中は、ダイレクトメールの封入やチラシ折り、シール貼りなど、企業から受注した様々な作業を行います。

取材当日は、ホテルのタグ作り、スーパールの商品に同封する「おすそ分け袋」の封入、オルゴールに添付するカード・年賀状に関するフライヤーの折り込みなど、バリエーションに富んだ作業を利用者の皆さんが協力して行っていました。

特に年賀状のフライヤーについては、他の事業所と共同で受注した件数が47万件にも及び、現在が作業のピークとのことでした。

以前は受注が少ない時期もあったとのことですが、最近は「コンスタントに仕事がきているそうです。

また、軽作業を一括りにできないほど内容が多岐にわたっていることから、携わった商品を街中で目にすることも多く、商品を見つけた利用者が嬉しそうに報告してくれることも多いとの話が印象的でした。

午前中の作業が終了したら、昼食の時間になります。希望者に1食200円で提供されるそうです。取材当日のメニューは野菜をたくさん浴びたから揚げとのこと、ちょっと羨ましい気分になりました。



作成していたホテルのタグ。
完成したら、順次箱の中に並べていきます。

2 午後（レクリエーション）

昼食後は、多彩な内容のレクリエーションを行います。

プログラムを見せていただいたのですが、麻雀・カラオケ・手工芸・映画上映など、色々な種

類のレクリエーションが記載されていました。

このほかに、体を動かしてもらおうことを目的

に、外部から先生を呼んで本格的なヨガを学んだり、ボーリングをしたりしているそうです。

特にボーリングについては、他の事業所と合同で開催する大会のチーム戦で優勝する程の



利用者の作品。本格的です。

腕前の人もいるとのこと。

ちなみに、取材当日は希望者で銭湯に出かけるのお話でした。

最後に事業所のPRポイントを伺いました。

「得意なことや希望に合わせて細やかに対応することで、長所を伸ばしていくことを心がけています。また、利用者同士が互いに尊重しあうため事業所の雰囲気も良く、通所を楽しみにしているようです。これからも、『利用者が主役の、利用者が作る施設』としてより良い環境づくりを目指していきます」

取材に御協力いただいたアベニュー16の皆さま、ありがとうございました。

〈問い合わせ先〉0600・00042

札幌市中央区大通西16丁目1・13

けいほくビルB1

就労継続支援B型 アベニュー16

電話 011・676・8461

FAX 011・676・8351